

前回のAPU通信に引き続き、今回もAPUで学ぶ附属校出身の先輩方に「APUの魅力」や「APUでの生活」について語っていただきました。先輩のメッセージからは、APUでの学生生活を通して日々将来に向けて様々なチャレンジをしている様子がよく伝わってきます。ぜひ参考にしてください。

【Voice.1】 干場 佳南大 さん(立命館高等学校2012年卒 国際経営学部 1回生)

APUを選んだ理由

APUを選んだ一番の理由は、高3の夏休み、初めてAPUのキャンパスを歩いた時に感じた「ここが自分にとって一番わくわくできる場所で成長できる場所だ」という直感です。当時私は、自分の環境を変えたいという思いをずっと持っていました。その理由は、小学校から高校まで野球を継続してやってきた私は、高校で野球部を引退した時に、野球が無くなれば、自分には他に何も残らないということに気がついたからです。今の自分を変えるには、環境を変え、自分の知らない世界に飛び込んでいくことが絶対に必要だと考えていた私にとって、APUという環境はまさに「私の知らない世界」でした。高校時代の友達とそのまま立命館大学に進学し、昔からの友達が近くに住む実家から大学に通うのではなく、知っている人間も数名しかおらず、親元を離れることになる別府に大学があるというのは、私にとってAPUの大きな魅力の一つでした。

APUでの学生生活

春セメスターの学生生活の感想を一言で言うと、「驚き」でした。当たり前顔をして3か国語も4か国語も流暢に操る国際学生達、ハウスでの一人暮らしを通して、今まで親に本当に支えてもらっていたという気づきなど、僕が体験した「驚き」は様々です。APハウスで起きたことですが、ある夜、カナダ人の国際学生と韓国人の国際学生がケンカを始めました。そのケンカを僕ともう一人の日本人と、トンガの国際学生と中国の国際学生と止めました。その時は止めることに必死で、なにも考えていなかったのですが、よくよく考えてみると、かなりおもしろい状況だったなとおもいます。このように、APUでは、日本人と国際学生の距離は近いです。ただ、APUの生活で慣れていくにつれて、私の中に一つの考えが生まれました。このAPUは国際色が豊とはいっても、日本にある大学で、私は国内学生なんだという考えです。本当に世界と日本の違いを感じるには、自分が外国人にならないとすることはできないと確信しました。そこで、もっと違う世界を自分の目で見て感じてみたい！ということで、夏休みに一人でインドへ。そこで見た世界は、「驚き」を超えて、今まで僕の中にあつた常識をことごとくぶっ壊してくれました。インドでの生活は大変なことが多くありますが、APUでの生活で、言葉の壁や宗教、文化の違いを経験することができていたので、日本との違いを楽しみながら経験することができました。この経験から、このAPUという大学は、将来自分が世界に出るときのための基盤や基礎を与えてくれている場所なのだ、ということに気がつきました。APUでの春セメスターで最も学んだことは、自分の中での常識は、自分と自分の周りの間だけでの常識であり、その常識を気にする必要はなく、常識にとらわれていたら何より楽しくない、ということに気が付くことができた春セメスターでした。

母校の先生や後輩のみなさんへのメッセージ

みなさんにとって、APU 進学は無数にある選択肢の中の一つだと思います。よく後輩に「APU に行けば英語が話せるようになるのですよね?」と聞かれますが、そんなことはありません。APU にいても、日本人ばかりと一緒に行動してまったく英語が話せない人もいれば、他大学で必死に勉強して英語が話せるようになる人もいます。これは英語に限らずどんなことにも言えることですが、結局はどんな環境を選択しようが自分次第だと思います。だからこそ、自分自身の選択は自分自身でしてほしいと思います。周りからのアドバイスを聞くことは重要ですが、最終的に決めるのは自分です。自分が一番したいことや自分の目標に正直になって、今後の進路などを選択してほしいと思います。僕自身みなさんに負けないように、自分の目標に向かって毎日楽しめます!!



入学式にて



GASS での天空祭での写真



インドでムンバイのドービーガートをバックに



GBL*のキャンプに参加したとき

* ビジネスとリーダーシップスキルの促進活動を行う公認団体

APUを選んだ理由

私が APU を選んだ理由は、夢を叶えるためです。私の将来の夢は、英語の先生になることで、そのために自分が大学の間に付けるべきだと思う力を身に付けるのに APU は最適な場所だと思い、APU に進学することを決めました。その私が身に付けたいと思う力は大きく 3 つあります。

1 つめは、たくさんの価値観を理解する力です。教師になるにおいて、自分と違う価値観を持つ人のことを理解する力はとても必要だと思います。私は中学から立命館に通っており、割と偏った価値観しか持っていないと感じました。そこで、APU に進学し、世界中から集まった様々な価値観を持つ学生たちと毎日一緒に過ごし、一緒に勉強することによって、そんな自分の価値観を変えたいと思いました。

2 つめは、自立し、自分で生きていく力です。今までは、親がいつでもそばにいて、友達もそばにいて、助けを求めればいつでも助けてもらえる環境にいました。そして、食事や洗濯なども、すべて親がやってくれていました。私はそんな生活から大学で抜け出さなければ、いつ抜け出すのだと思いました。自立していない人が、人に何かを教えることはできないと思いました。そこで、親から離れた大分の APU で一人で暮らし、誰も知っている人がいないところに飛び込むことによって、自立したいと思いました。

最後に 3 つめは、英語力です。中学高校ではとても英語が好きで、成績も良い方でした。しかし、学校の授業では英語を話すものではなく、ホームステイを受け入れたり、留学生の友達を作ったりしましたが、なかなか英語を使うという機会がありませんでした。いくらテストでいい点を取っても、実際に使うことができなければ意味がないと思いました。そこで私は授業も英語で受けることができ、周りにたくさん英語を話す人がいるという、英語を使うのに最適な環境が整っている APU に進学し、自分の英語力をもっと伸ばしたいと考えました。

しかし、この APU に進学するという決断は、すぐに下すことができたわけではありませんでした。なぜなら、APU は遠くて田舎にあるというイメージが強く、私の APU に行きたいという気持ちにブレーキをかけていたからです。しかし、将来のこと、そのために自分がしたいこと、目標を考えたときに、そんなことはたいした問題ではないということに気づきました。どこにいても、自分がやることさえやれば、楽しいことはいくらでも出てきます。そして、どこにいても、悩み、おもしろくないことは出てきます。楽しいものがたくさんある京都にいても、絶対にいやなことは出てきます。それなら、自分が成長できる幅が大きい APU を選ぶべきではないだろうかと思いました。そして、私は APU に進学することを決めました。

APUでの学生生活

私は英語基準として入学し、英語で授業を受けたりディスカッションをしたり、エッセイを書いたり、プレゼンテーションをしたりしています。大変なこともあります。自分の英語力を伸ばすことができるので、とても充実しています。また、色々な国からの友達もでき、その人たちと色々な話をしたり、一緒にごはんを食べたり出かけたり、とても楽しい時間を過ごしています。



左の写真は AP ハウスのロビーでみんなでしゃべっていた時の写真です。この写真の中だけでも 10 か国以上の方がいます。真ん中の写真はカラオケに行った時のものです。この中にも 4 か国の方がいます。右の写真は、友達の誕生日にみんなでごはんを食べに行った時のものです。APU で学ぶ中で、国籍は関係ありません。私自身も、自分が一緒にいて楽しい人と過ごしているので、国籍やバックグラウンドなどは、全く気にしていません。お互いの文化を話し合ったりして、とても有意義な時間を過ごしています。

また、GASS という APU を紹介する組織にも入っています。毎週ミーティングがあったり、高校生に APU を紹介する時があったり、オープンキャンパスがあったりして、大変な時もありますが、とても楽しいです。自分の大学の良さ、大学生活について話すのはとてもやりがいがあります。



もちろんこの中にもさまざまな国から来た人たちがいて、一緒に活動しています。

また、夏休みにはたくさんの友達が京都に遊びに来ました。案内や、一緒に観光をしていると、たくさんの質問をされました。だけど、わからないことも多くて、日本人なのにあまり日本のことを知らないということに気づかされました。だから、世界のことを学ぶと同時に、日本についてももっと勉強しようとしています。



母校の先生や後輩のみなさんへのメッセージ

ほとんどの友達は立命館大学に進学し、APUを選んだのは私たちの学年で3人でした。立命館からAPUに進む人は先輩たちの代も少なく、これからも少ないかもしれません。だけど、一步踏み出してみれば、自分の世界がぐっと広がると思います。実際に私はここに来て本当に良かったと思うし、こんなにおもしろい場所はないと思います。今はもう慣れてこれが当たり前の状況ですが、ふと考えたときに、これから生きていて、こんなにたくさんの国から来た人たちと毎日をともに過ごすことはあるのかなと思います。だから、一回しかない大学を、この環境で過ごしてみてもいいですか。

また、立命館で学んだことはとても役に立っています。中学、高校時代にたくさんの国際交流を経験させてもらったおかげか、外国人の人に対してもまったく違和感を感じることなく接し、友達になることができます。たくさんの後輩たちが、APUに来てくれることを楽しみにして待っています。

次回の APU 見学ツアーのご案内

アジア太平洋大学 APU が実施するオープンキャンパスへ、附属 4 高等学校から合同で参加するツアーを実施します。

参加対象は高校生です



日程

- 3月22日(金) 大阪南港19:00集合(点呼,乗船手続)/結団式・諸注意
大阪南港 19:55 発 (フェリー:ツーリストベッド)
- 3月23日(土) 大分別府港 7:45 着 (送迎バス) 10:30 頃着 APU (オープンキャンパス参加)
APU17:30 発 (送迎バス) 大分別府港 19:35 発 (フェリー:ツーリストベッド)
- 3月24日(日) 大阪南港 7:35 着(解散)

定員

40名

費用

3,000円(食費など個人的な費用を除く)

立命館慶祥からの参加は、大阪南港までの交通費として2万円を補助



引率

学校法人立命館の担当教員・職員

集合・解散場所

大阪南港コスモフェリーターミナル(ATCのりば)

地下鉄四ツ橋線住之江公園駅または中央線コスモスクエア駅からニュートラム「トレードセンター駅」下車(徒歩約5分)

申込

申込書に必要事項を記入の上、各附属校の担当の先生に提出

申込〆切(厳守)

2月25日(月) 〆切厳守!

(附属校から一貫教育部宛の〆切は2月26日(火)とします(送付先:一貫教育課 杉本宛))

備考

このツアーは、日本旅行大分支店(TEL:097-532-6166)の手配で実施します。申込後に日本旅行より申込者本人宛に詳細の連絡が届きます。参加費用の支払手続きについては日本旅行からの案内を確認してください。万が一、出発3日前までに何も連絡がない場合は、日本旅行大分支店にお問い合わせ下さい。お申し込み後のキャンセルはできません。

定員を超えるお申し込みがあった場合は参加できない場合があります。予めご了解ください。

第5回 APU オープンキャンパス 3月23日(土)開催分 専用バス・フェリーチケット 申し込みフォーム

フェリー <small>APUまでの送迎付き</small>	大阪(大阪南港)/ツーリストベツト	3,000 円
--	--------------------------	----------------

【ご注意】

※APU到着は11:00、出発は17:30を予定しています。詳細は後日、日本旅行よりご連絡させていただきます。
 ※フェリーチケットは、料金振込後にキャンセル・変更をされる場合、払い戻しができませんのでご注意ください。
 ※フェリーチケットは、席に限りがございますので予めご了承ください。
出発3日前までに何も連絡がない場合は、日本旅行大分支店(TEL:097-532-6166)へお問い合わせください。

◆太枠の中をご記入下さい。

フリガナ				年齢		性別	男・女
氏名							
所属高校	高等学校	科	コース	1年 ・ 2年 ・ 3年 ・ 既卒			
連絡先	〒	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	TEL (市外局番)	—		
		<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	FAX (市外局番)	—		
		都 道 府 県					
	E-mail (@)					

連絡先(携帯)

保護者同意書

フリガナ				年齢		性別	男・女
氏名							
あなたとの関係							
連絡先	〒	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	TEL (市外局番)	—		
		<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	FAX (市外局番)	—		
		都 道 府 県					

申し込み〆切(厳守) 2月25日(月)	申込先 各附属校の担当の先生
----------------------------	---------------------------------

【個人情報保護について】

当社(株式会社日本旅行)では、お客様からご提供いただいた個人情報を厳重に管理し、お申し込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との間の連絡及び大会主催者への提供ならびにこれらの付随する業務を行うために利用します。
 その他、当社の個人情報取扱いにつきましては、当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご参照ください。
 個人情報の取扱いに冠する問い合わせ先 株式会社日本旅行大分支店 TEL097-532-6166